

平成26年度 富士見小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

心豊かで健やかな体を持ち、創造性豊かに自ら学び、自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよい社会の発展を目指して、たくましく生きる児童の育成を目指す。

- 1 心豊かで、思いやりのある子ども(心豊かな子)
- 2 よく学び、工夫する子ども(よく学ぶ子)
- 3 健康で、たくましい子ども(たくましい子)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

子ども一人一人のよさやつよみを探し、見つけ、つくり、それをほめて伸ばす指導の充実により、「学ぶことが楽しく、生き生きと活力に満ちた学校」「明るく、あいさつの響き合う潤いのある学校」「家庭や地域と手をつなぎ、ともに歩む学校」の実現をめざす。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

教育目標の達成を目指し、歴史と伝統、よき校風を基盤とし、学校は子どものためにあることを前提に、21世紀をたくましく生きる子どもの育成に努めるために、次の方針により学校経営にあたる。

- 1 楽しい学校づくり
- 2 ○学習指導の充実
- 3 ○健康・体力の保持・増進
- 4 ○豊かな心の育成
- 5 児童指導の充実
- 6 教職員の資質の向上
- 7 小中一貫の推進
- 8 ○家庭・地域・幼保・企業との連携強化(1)

【宮の原地域学校園教育ビジョン】

心豊かで輝くこどもの育成

- 1 基礎的・基本的な学力を身に付けさせる
- 2 思いやりを高め規範意識の向上を図る
- 3 継続した筋力向上をめざし、健康で安全な生活を営ませる。
- 4 交流連携の一層の促進をめざして、情報共有をする。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

○家庭・地域・企業等の学校支援ボランティアの協力を得、地域の特色を生かした教育活動の推進

【学 習 指 導】

・伝え合う力を育て、人とのつながりを築こうとする児童の育成 ～ 相手意識を明確にした指導法の工夫 ～

○基本的な学習習慣や態度の定着

【児 童 生 徒 指 導】

○基本的な生活習慣の確立と社会的な資質・能力の育成

・豊かな心を養い、自ら考え、正しく判断し、実践する子どもの育成

【健康（保健安全・食育）・体力】

○運動に親しみ、自ら進んで自分の健康・体力の向上に励む児童の育成

～ 教科体育及び体育的な行事における指導の工夫 ～

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」⇒それぞれの肯定的回答90%以上	①学校行事等において、児童が主体的に活動する場を多く設定し、活気あふれる学校づくりをする。 ②授業では、学習意欲を高める多様な体験的学習の工夫をする。		【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は、98.7%で数値指標を達成した。また、児童93.2%、保護者94.0%、地域住民98.7%といずれも高い数値だった。 ・児童が主体的に活動する行事（音楽集会・ゆうゆうコンサート）や児童会活動（1年生と遊ぼう・チャレンジランキング・なかよし集会）等を実施した。 ・全学年において、学年に応じ、街の先生や地域ボランティアの協力を得て、体験を通して学ぶ授業を展開した。 【次年度の方針】 ・児童・教職員共に、来校者に対して明るく挨拶をし、誠意を持って対応する。 ・学校の様子を広く周知するために、学校での行事や体験的学習の様子などを、学校だよりや学年だよりやHP等に写真を載せる等工夫して、知らせるようにする。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は協力し、教えるべきことをしっかりと熱心に指導している」⇒保護者の肯定的回答90%以上	①<u>それぞれの子どものよさを認め励まし、指導すべきことはしっかり指導する。</u> ②教育相談や個人懇談等を計画的に実施し、個に応じた支援に努める。		【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は90.0%で、指標90%を達成した。それぞれの肯定的回答は、教職員97.2%、地域住民100%、児童96.7%と高く、満足いく状況と考えられるが、昨年度より約4ポイント下がっているため、保護者はより高いものを求めていると思われる。 【次年度の方針】 ・今年度の方針を継続し、児童一人一人のよさを認めながら、個に応じた支援の充実を図る。 ・問題行動に限らず、児童のよい面もたくさんメモに取るなどして児童理解の充実を図り、それを生かした指導や支援を行うとともに、保護者へ伝える方法の工夫をする。

A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①「みんなのやくそく」による日常指導の充実と教師による生活当番活動を実施すると共に、保護者との連携・協力を図り、支援体制を充実させ、個に応じたきめ細やかな対応を心掛ける。 ②<u>道徳教育の充実を図り、全校での道徳の公開授業を実施する。</u>	【達成状況】 ・教職員肯定的回答は55.6%であり、数値指標を達成できなかった。地域住民の92.9%であるが、児童が80.0%であり、全体指導と個別指導が必要である状況である。 ・道徳教育の充実に努め、6月の教育連絡日（授業参観）では、全学級で道徳の授業を公開した。 ・児童の問題行動があったときは、チームで対応し、迅速に問題解決にあたった。 【次年度の方針】 ・「みんなのやくそく」の周知徹底を行い、全校で安全に対する意識を高めたい。 ・道徳の授業の充実・公開を実施する。 ・さらなる学校全体の支援体制の整備を図り、きめ細かな対応が可能になるよう努めたい。
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」⇒保護者の肯定的回答90%以上	①教材開発・課題提示の工夫など、一人一人の実態に応じた指導により分かる授業を行う。 ②3年生以上の国語・算数でT・Tや少人数指導など、学習形態の工夫を図り、個に応じた指導を行う。 ③教員の指導力の向上を目指し、一人一授業と授業後の研究会を実施する。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は、97.2%で数値指標を達成した。 ・児童の肯定的回答は93.9%で、高い。保護者の肯定的回答も81.1%と良好である。 ・学年や学級の児童の実態に応じて、分かりやすい授業となるよう、教材を開発したり課題を明確にさせたり等の実践をしてきた。また、算数・国語科における少人数指導、T・Tの指導により、個に応じた授業の実践に努めてきた。 ・配慮を要する児童については、個別に指導するかがやきルーム等を活用し効果が上がった。 【次年度の方針】 ・少人数指導、T・Tの指導により、個に応じた授業の実践に努め、教職員が工夫した校内研修を行って、授業力の向上を図ったり、個に応じた指導の成果を保護者にも伝えたりしていく。

A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「先生はいじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答90%以上	①教職員の協力のもと、いじめのない学級経営に努める楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、いじめのない学級づくり、早期発見・早期対応に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は96.4%で数値指標90.0%を達成した。しかし、教職員94.4%、地域住民91.7%と肯定的回答の割合が高いが、保護者は70.8%と肯定的回答が低くなっている。 ・アンケートの結果や教育相談などで、いじめに発展しそうな事案が出た時には、教職員で協力し合い、早期の対応に努めた。 【次年度の方針】 ・楽しい学校生活を送るためのアンケートや児童へのアンケート結果を参考に自分の学級経営を振り返り、さらに改善・向上を目指していく。 ・いじめ防止基本方針や人権集会などの情報を保護者に向けて、積極的に発信していく。
A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケート「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」⇒保護者の肯定的回答95%以上	①学習状況調査やアンケート等の児童の実態から、各教科・各種年間計画を見直し、自校化を図る。 ②学校評価・学校行事アンケート等により、児童や保護者の願いを生かした、よりよい学校行事・学年行事・学習活動を実施する。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は96.5%で数値指標95.0%を達成した。また、教職員が97.2%、地域住民が92.9%、児童が92.5%と、高評価を得ている。 ・今年度も教職員への学校行事ごとの反省やアンケート、保護者のアンケート結果を見て、児童や保護者の願いを考慮した年間行事を組み込んだ。 【次年度の方針】 ・保護者や地域住民、児童のアンケートを参考にしたり、地域学校園とも連携を図ったりしながら、子どもにとってよりよい教育課程をバランスよく編成する。
A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答90%以上	①オープンスクール・土曜授業・ゆうゆうコンサートなど機会をとらえて、保護者や地域の方に学校を公開する。 ②各種便りを定期的に発行し、それをHPで公開する。「学校だより」は地域にも回覧し、学校の取り組みを地域にも知らせる。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は94.7%で数値指標を達成した。 ・各種たよりは、毎月保護者に配布したり、ホームページに掲載したりして、学校の取組や活動の様子を知らせた。 【次年度の方針】 ・行事ばかりでなく、児童集会や音楽集会、ゆうゆうコンサートなどの開催についても保護者等に知らせ、公開していきたい。 ・健康に関する児童の実態や保護者のニーズを把握した上で、各種たよりの内容を充実させる。

A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①<u>企業や大学との連携を図った体験型学習を積極的に実施する。</u> ②新たな地域人材を募集するなどをを行いながら、地域探検や農業体験等地域教材や地域の人材、街の先生を活用した授業を計画的・継続的に実施する。 ③隣の県立博物館・市立図書館・文化会館・宇都宮城等の文化施設を積極的に授業に活用する。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答が92.7%で数値指標を達成した。地域住民が91.7%と指標を超える評価が得られた。これは、英語・書道・珠算・太鼓・茶道・昔遊びや親子工作などで多くのボランティアの協力・支援を受けながら体験的な学習が進められた結果である。 ・学区内にある県立博物館や文化会館および周辺施設を積極的に活用できた。 【次年度の方針】 ・今年度同様、保護者・地域・企業等との連携を図った授業を継続していく。 ・地域協議会のコーディネーターと連絡を取り合い新たな地域人材の募集、授業で活用できる地域人材の募集、授業で活用できる地域の素材の開発に努める。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 縦割り班での清掃指導の充実図ると共に、学年集会や学級活動において発達段階に合わせた清掃の仕方の指導を行う。 ②草花栽培等校内緑化や掲示コーナーの環境を計画的に整備する。 ③日常的に校内巡視を行うと共に定期的な安全点検を実施し、安全な学習環境づくりをする。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は61.6%と低く、数値指標を達成できなかった。 ・縦割り班による清掃活動を行ったが、指導が十分に行き届いているとは言えない状況である。 ・一方で、保護者93.5%、地域住民100%、児童83.3%の肯定的回答を得ており、効果が得られている活動もあると考えられる。 【次年度の方針】 ・夏休み前までの第1期は、各学年・学級で清掃場所を分担し、学年集会や学級活動も利用しながら発達段階に合わせた清掃の仕方の指導を行う。第2期と第3期は、第1期の指導を生かして縦割り班での清掃を行う。 ・校内緑化や掲示物の整理、安全点検などを計画的に行い、校内の環境整備に努める。
B 1 学校・保護者・地域が一体となって、読書活動の充実に努めている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①2回、クラスごとに落ち着いた雰囲気朝の読書を行うとともに、週1回の図書室利用の時間の活用を工夫する。 ②図書委員や保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを全学級、月1回実施する。 ③地域団体による素語りや読み聞かせを月1回学年ごとに実施する。 ④各学年オープンスペースに読コーナーを設置し、休み時間等に身近に読書に親しめる場所を作る	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は97%で数値指標に達している。しかし、児童の肯定的回答は、例年並みに、61.9%と低い。 ・朝の読書、読み聞かせ、お話会等を計画的に実施し、読書活動には力を入れてきた。 【次年度の方針】 ・学年に応じた内容の「おすすめの10冊」の有効活用を図り、読書量の増加に努める。 ・昼のお話会や下野民話の会による素語りなどでボランティアの計画的な活用と充実に図り、児童の関心を高める。 ・図書の選定等に児童の意見も取り入れ、図書の充実に努める。

教育活動の状況	生 活	A10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童はあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答80%以上	①学級の児童・委員会児童・教職員が週3回輪番制で中央広場に立ち、あいさつ運動の充実を図る。 ②あいさつ運動の様子をたより等で周知し、家庭にも協力を呼びかける。 ③日常的に呼名に対する返事等の指導の徹底を図る。 ④宮の原地域学校園全体であいさつ運動を実施する。	【達成状況】・教職員の肯定的回答は52.8%と数値指標を達成できなかった。児童の肯定的回答は、83.7%と昨年を上回ったが、保護者は63.4%、地域住民が78.6%、低い評価をしている。 ・あいさつ運動等を通して、児童の意識の向上を図っているが、日頃のあいさつに結びつけることが難しい現状である。 【次年度の方針】 ・学校全体であいさつが児童から進んでできるように、あいさつ運動の充実をさらに図っていく。 ・教室でのあいさつ（授業の始まりと終わり）や校内での返事・来校者へのあいさつ等で声をしっかり出せるよう指導していく。 ・家庭と連携してあいさつ運動の充実を図っていく。
		A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は正しい言葉づかいをしている」⇒教職員の肯定的回答80%以上	①日常の言葉遣いや敬語の使い方等の指導を全職員共通理解のもと継続的に行う。 ②職員室の出入りの場や授業の発表等で正しい言葉づかいを指導する。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は52.8%で目標を達成できなかった。 ・返事や言葉づかいについては、各学級でも指導しているが、十分な成果は得られなかった。 【次年度の方針】 ・名前を呼ばれたら、「はい。」と返事をすることを重点的に指導する。 ・教室に話し方の掲示を行い、日々の学習や生活の中で身に付けさせていく。 ・学年だよりや学級懇談、個人懇談等で保護者にも啓発を図り、協力をお願いする。
		B2 交通ルールを守って安全に登下校している。 【数値指標】全体アンケート「児童は、登校班で登校し、集団で安全に注意しながら、下校している」⇒児童の肯定的回答90%以上	①登下校指導を地域・保護者・教職員が一体となって実施する。週2回は集団下校を実施する。 ②交通安全教室を警察スクールサポーター、スクールガードチーフ等の協力を得て計画的・継続的に実施したり、防犯教室を警備会社と連携して行い、自他の安全を守り、実践的な理解が深められるようにする。 ③家庭と連携を図りながら携帯電話やメール等の指導等の情報教育の強化に努める。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答が94.0%であり、数値指標を達成した。児童の肯定的回答は昨年度から0.5ポイント向上し、保護者・教職員も、昨年度よりも高い数値になっている。また、地域住民の肯定的回答は100%であり、満足いく状況である。 【次年度の方針】 ・今年度の取り組みを継続し、さらに交通安全教室の内容を工夫して取り組む。また、日頃から地域・保護者との連携を図るとともに一斉下校の際に、各担当地区の教員より繰り返し安全に関する意識を高める言葉かけを行っていく。

	B3 いじめや不登校がない明るい学級で生き生きと過ごしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、友達と仲良く助け合いながら、楽しく学校生活を送っている」⇒児童の肯定的回答90%以上	①<u>教職員の協力のもと、どの子も居場所が確保できる学級経営に努める。</u> ②縦割り班活動を充実させ、なかよし集会やチャレンジランキングなどの活動を通して異学年の交流を図る。 ③「まごころカード」の実践を通して、豊かな心を育てる小さな親切運動の推進を図る。 ④<u>楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、早期発見・早期対応に努める。</u>	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は93.3%と数値指標を達成している。 ・まごころカードやいじめ解消率については指標を達成している。 ・不登校については、市教育センターや児童相談所など関係機関と連携して、指導にあたっている。 ・いじめアンケートを実施して、早期発見・早期対応に努めている。 【次年度の方針】 ・問題の早期発見及び防止のために、今年度の取組を継続し、さらに充実させていく。問題となっている事案については、学校全体で情報を共有し、いじめや不登校への対応を一貫したものになるよう努める。 ・楽しい学校生活を送るためのアンケート結果を参考に自分の学級経営を振り返り、さらに改善・向上を目指していく。
健康・体力	A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】全体アンケート「児童は進んで運動している」⇒児童の肯定的回答率90%以上	①<u>検定カード（水泳・縄跳び・持久走・鉄棒）を活用し、目標を持って積極的に運動を実施し、体力増強への意欲を高める。</u> ②日課を工夫し、業間・昼休みの時間を確保し、外での自由遊びを奨励する。 ③ゆうゆうタイムでの遊びを奨励する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率は87.3%で数値指標は達成できなかった。 ・目標には届かなかったものの、業間や昼休みには、外遊びを中心によく運動している姿が見られる。 ・各種検定カードを活用し、それを励みに自主的に運動する姿も見られる。 【次年度の方針】 ・今年度同様に外遊びの奨励や声かけを継続していきたい。 ・学年だより等で体力向上の取組について知らせることで、家庭においても進んで運動する意識を高めていきたい。（なわとび大会等の体育的行事・元気っこ健康体力チェックの結果など）
	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は栄養のバランスを考えて食事をしている」⇒保護者肯定的回答率80%以上	①<u>栄養のバランスを考えた食事が実行できるように、学校栄養職員による「食に関する授業」を実施したり、保護者会等で家庭の協力を要請したりする。</u> ②親子給食を実施して、楽しく会食しながら、好き嫌いなく食べられるようにする。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は76.5%であり、数値指標は達成できなかった。 ・食育便りや親子給食で啓発を行っているが、家庭でも偏食が多い状況がわかる。 【次年度の方針】 ・家庭と協力して、児童自身が自分の健康や成長に必要なバランスの良い食事をとれるようにお弁当の日を活用するなど、意識化を図りたい。

	B4 <u>運動技能や体力の向上を図り、健康な体づくりをしている。</u> 【数値指標】全体アンケート「児童は、検定カードなどにより、目当てを持って運動に取り組んでいる」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①<u>検定カード（水泳・縄跳び・持久走・鉄棒）を活用し、目標を持って積極的に運動を実施し、体力増強への意欲を高める。</u> ②日課を工夫し、業間・昼休みの時間を確保し、外での自由遊びを奨励する。 ③養護教諭による肥満傾向の児童への健康教室を実施する。 ④<u>うつのみや元気っ子プランに基づき、全員がミニマムプランを達成できるよう体力の向上に努める。</u>	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は88.9%で数値指標を達成できなかった。 ・各種検定カードを活用し、それを励みに自主的に運動する姿も見られる。 ・肥満度20%以上の割合が学年男女によりばらつきがあった。計測時を利用し個別指導を中心に実施した。 【次年度の方針】 ・各種検定に目当てを持って取り組むよう声かけを行う。 ・今年度同様に外遊びの奨励や声かけを継続していきたい。 ・肥満指導に関しては人権を配慮し、個々に合った指導の機会を掴みながら継続指導して行く。
	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は進んで学習に取り組んでいる」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①一人一人が自由に発言できるような学習集団作りに努める。 ②学習活動の中で、小集団での話し合いの場を設定し、発言しやすい環境を作り、コミュニケーション力を育成する。 ③<u>家庭と連携して、家庭学習への意欲を高めたり、定着を図ったりする。</u> ④校内で「伝え合う力」の育成をめざした研究を進める。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は、91.7%で数値指標を達成した。児童は87.5%，保護者81.3%，教師91.7%，地域92.9%と全て80%を超える高い数値となった。 【次年度の方針】 ・小集団での話し合いやコミュニケーションの育成等に取り組んできた。 ・今年度の研究テーマ「伝え合う力」を来年度も継続していく。
学 習	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は落ち着いて学習に取り組んでいる」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	①<u>基本的な学習習慣を身につけさせるよう繰り返し丁寧に指導する。</u> ②話の聞き方・発表の仕方等を学年に応じて指導したり、個に応じて支援したりする。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は78.9%と、数値指標を達成できなかった。 ・学年に応じた聞き方・話し方の指導や個別指導を行ってきた。 【次年度の方針】 ・①②ともに児童の発達段階に応じた取組を継続していく。特に、聞き方の指導を重点的に行う。 ・研究主題とも関連させ、話し合い活動を意図的に取り入れることで、自分の思いを伝える大切さや思いが伝わったときの喜びを味わわせ、安心して学習に臨めるよう努める。 ・個別指導を充実させ、成就感や達成感が得られるように支援する。
	B5 自ら進んで学習に取り組む態度が身に付き、基礎学力が向上している。 【数値指標】全体アンケート「家庭学習を毎日、決められた時間実施している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①<u>朝の学習として、漢字や計算の繰り返し学習を週1回実施する。</u> ②各学年の発達段階に応じて「<u>家庭学習のしおり</u>」を家庭に配布し、保護者の協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答割合は79.8%で、数値指標を達成できなかった。 ・家庭学習については、担任が定期的に確認し、アドバイスを行うなど個に応じた指導をしている。 【次年度の方針】 ・朝の学習や少人数・習熟度別学習の実施などにより、一人一人の児童の実態に応じたきめ細かな指導を今後も行い、徐々に基礎学力を身に付けさせていく。 ・学年に応じた家庭学習の時間や内容の目安を家庭に伝え、保護者の協力を得ながら児童が進んで学習できるように支援していく。

本校の特色・課題等	B6 教職員は、ほめて伸ばす指導に努めている 【評価指標】全体アンケート「先生はあなたのことをほめてくれますか」 ⇒ 児童の肯定的回答 80%以上	①短所を是正するのではなく、長所を伸ばさせるという視点に立ち、減点法ではなく加点法により、児童のよさや得意なことを見つけ、それをほめて伸ばす指導を行う。 ②「まごころカード」を活用し、児童のよさやがんばりを積極的に称賛する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は、89.1%で、数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ・長所を伸ばさせるという視点を教師が意識して持ち、児童のよさや得意なことをみつけて積極的にほめていく。 ・日頃の言葉かけだけでなく、児童の提出したノートや作品にもシールやコメントなどを入れて児童の頑張りを称賛するように心がける。 ・帰りの会やまごころカードを活用して児童のよさやがんばっている姿を認め、称賛する場面を多く作るようにする。
-----------	---	--	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 教育全体の状況

- ・ 全体アンケートでは、指標を達成できた項目は21項目中11項目となっている。
- ・ 市の小学校の肯定的回答と比較すると、全体的に肯定的回答の数値は低い。
- ・ アンケート全体の中では、「学校全体は活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」、「教職員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきところ熱心に指導している」、「学校の日課、授業、行事など、教育課程は適切に実施されている」、「学校は家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」は高い評価を得ていることから、学校は適正に学校を運営し、児童は楽しく学校生活を送っていると判断される。

2 学校運営の状況

- ・ 指標からの目標達成についてはおおむね良好な結果が得られている。
- ・ 教育課程については適切に実施され、学校便りや教育連絡日、土曜授業などの授業公開等、保護者や地域に対する情報発信に努めており、開かれた学校づくりを目指していると評価されている。
- ・ 今年度も施設や環境整備の評価については、保護者・地域住民・児童の評価に比べると、職員の評価が低い。

3 教育活動の状況

① 生活

- ・ 児童の時と場に応じたあいさつ、言葉づかいの教職員の肯定的な評価については指標よりも大きく下がっており、また保護者や地域住民からの肯定的な評価の数値も低い状態である。
- ・ 登下校時の児童の安全については、児童は95%が、集団で安全に注意しながら登下校していると答えているが、教職員や保護者からの回答を見ると課題も多いと捉えている。

② 健康・体力

- ・ 「好き嫌いなく食べる」については、親子給食などで啓発をしているが、保護者の肯定的回答で指標をやや下回った。
- ・ 「運動」については外遊びを奨励しているが、業間や放課後の積極的な運動についての肯定的回答も指標をやや下回った。

③ 学習

- ・ 児童の学習に対する積極的な態度については、伝え合う力の育成について、学校課題として研究してきた成果もあり、教職員の肯定的回答が指標を上回った。
- ・ 読書活動の充実については、保護者の肯定的回答は指標を上回ることができたが、児童の肯定的回答が低いことから、図書館だよりの発行や親子読書、読書まつりなど、啓発活動や読書ボランティアの積極的な活用により読書好きな児童の育成に努める必要がある。

本校の特色

- ・ 児童は友達と仲良く助け合いながら楽しく学校生活を送っているかについては、児童の肯定的回答が指標を上回り、縦割り班でのなかよし集会や清掃活動が、異学年交流を通した人間関係づくりの場として定着している。
- ・ 児童のよさを見取り、ほめる指導については、児童の肯定的回答が指標を上回っており、まごころカードの活用や加点法で児童の良さを見取るにより、児童の自己肯定感が高まってきていると考えられる。

6 学校関係者評価

・学校評価の教職員と保護者、地域住民の肯定的評価の違いは、例えば家の中ではよい子だが、親の目が届かないところでは・・・ということがあるのかもしれない。また、評価は自分の子どもに対しての評価で周りの子どもを見ていないという場合もあるのではないか。

・親のしつけや家庭の在り方は、生活のきまりを守れるかどうかに関係するところがある。親があいさつをしないと、子どももしない場合がある。1年生では、なかなかあいさつができなかったが、親が「あいさつをしろ」と常に言っていると、3年生ぐらいから、あいさつができるようになることがある。「あいさつ」とともに、「ありがとう」もなかなか言えない場合がある。

- ・地域住民も子どもたちにあいさつや言葉をかけあうということが、子どもたちの安全にもつながる。
- ・家庭のしつけが大切だと思う。言葉や行動の良い・悪いはその時に指摘してこそ、効果が上がる。
- ・子どもたちが学校で楽しく学ぶことができているというのは、自分たちにとってもうれしい評価である。
- ・今後は保護者にも、あいさつや言葉遣いの大切さについて、呼びかけていきたい。
- ・学校・保護者・地域の三者が一体になり、子どもたちの健全育成に努めたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度は各項目の肯定的回答の達成値を上げたため、前年度と比較すると、全体の達成の状況は低くなっている。
 - ・わかりやすい授業の実施や児童一人一人へのきめ細かな指導については、次年度も研究課題を設定し、一人1授業などを行いながら教員の資質の向上に取り組んでいく。
 - ・施設や環境整備については課題が残ったが、次年度は計画的に環境美化を行うとともに、児童の清掃指導も充実させて、校内全体が学びの場として潤いのある環境となるように、学校全体で取り組んでいく。
- 児童は全体的に明るく楽しい学校生活を送ることができているが、授業や生活のきまりとマナーを守り秩序ある安全な学校生活を送ること、については課題がある。基本的な生活習慣の育成や安全な生活については、宮の原中学校地域学校園の指導方針に基づき、9年間を通して目指す姿となるよう、保護者・地域と連携しながら努力する。
- 外遊びを奨励するとともに、宇都宮のミニマム等の目標を持って運動に取り組むことができるよう、検定カードの工夫を図る。
- ・児童をほめて伸ばす指導については、児童のよさの見取り方やほめ方について、教員各自が研究し、ほめて児童の良さを伸ばす指導を充実させていく。